

44・除菌あれこれやってみた

原町幼稚園園長 鶴谷主一（静岡県沼津市）

新 型コロナと付き合い始めて約1年、幼稚園の年間行事もコロナ対応で、変更にくぐ変更でイレギュラーな年になりました。

同時に、感染予防をどう実施していくかも、**新たに発生した結構な負担業務**となり、この1年いろいろ試してきました。今後も新しい方法が生み出されていると思いますので、また対応は変わっていくのですが、現状かけられるお金と労働力というコストを考慮しつつ取り組んできた除菌方法実践レポートとなります。

除 菌方法
消毒・殺菌・除菌・・・などの用語は同じようなものがいくつかあって、正確には意味するところが違うようですが、今回平成は除菌ということばを使います。我々にとっては現状で「**いかに低コストでキレイに安全に感染予防ができるか**」ということが肝心なのです。

そ の前に・・・
毎年12月～3月にかけて流行り、卒園式など大切な行事を欠席する子どもたちにヤキモキさせられることが常でしたが、**今年はインフルエンザやノロウイルスの発生はゼロ!!!** すごいものです！やればできるんじゃない！というのが正直な感想。子どもたちも保育者も健康そのもので毎日登園してくれたのであります。

手洗いうがいや体温管理、家庭での健康管理は、日常的に実行するのが前提の上で、通園バスはマスク必須、みんなが集まるときもマスク必須という感染予防が、功を奏したのでしょうか。これは私が30年以上幼稚園で仕事をしていて初めての現象なのです。「**コロナが終わってもこの状態は継続したいね!**」という話が職員間で交わされています。ちなみに、子どもたちのマスクは登園してからは通常外しています（大人は基本着用ですが場面に応じて適宜外します）コロナ禍でも、良い発見も結構あるものです。

で は、コロナ対策で増えた業務のひとつ、「除菌方法」について見てみたいと思います。

※具体的に実際に使っている商品を上げた方が信憑性があると思うので、通販のセールページみたいになってますが、他意はありませんのでご了承下さい。
(^_^)

アルコール

まず、消毒といえばアルコール、というのが定番です。手洗いに加えてアルコールで手指消毒。これは現在も続けていますが、多用すると手荒れするという弱点があります。なので、あまり子どもたちに多用できないという問題がありますので、ほどほどに使っています。

次亜塩素酸水（強酸性水）

もともと園に飲料用の還元水（弱アルカリイオン水）生成器を設置していて、この機械に濃い塩水をセットして電気分解することで殺菌の水と言われる強酸性水を作ることができます。同時にお掃除の水と言われる強アルカリ水を別々のホースから出します。



強酸性水は、生野菜などの食材やキッチン回りの消毒などにも使われる便利な水で、園ではノロウイルスでおなかを壊し、子どもが嘔吐したときの処置にも使っていました。それ以前はピューラックスという次亜塩素酸ナトリウム（名前は似ていますが、こちらは水ではなく塩

素系のハイターと同じような薬品)を使用していて、塩素臭もすごい処置するときに服についたり、床に付いた薬品が漂白してしまうので、素手では扱えない使いづらい物でした。



次亜塩素酸水については、酸性濃度によって殺菌力が変わってくることもあり、十分でない濃度のものが出回ったり、次亜塩素酸**ナトリウム**のほうと混同して伝わったりして、コロナ対策としては有効性に問題ありと報道されました。しかし10年前からウチでは使っていて、水に塩を入れただけのものが体に害があるとは思えず、そんな報道の中でも使ってきています。現在も手指の消毒のメインはコレです。

余談ですが、弱酸性の水は化粧水に使われています、そして強酸性水は手がスベスベになり手荒れも治るのです。新しい機械に買い替えるときに古い機械を近所のお菓子屋さんに譲ったのですが「アカギレがひどかった若いパティシエ(女の子)の手荒れが水のお陰で治りましたよ!」と報告もありました。

還元水生成機メーカー
<https://enagic.co.jp/product/>

部屋の除菌

保育室やトイレなどの室内、ドアノブや階段の手摺りなど、大人数が触れるところの除菌もいろいろ試してみました。

空間除菌

空間の除菌といえば、最初はシャープのプラズマクラスターや、パナソニックのナノイー除菌などを思い浮かべ、使用していましたが、効果も限定的ということで、あまり期待は持っていません。クレベリンは臭いが気になってしまうので、使っていません。

オゾン発生器

保育室や、おもちゃや棚など広範囲にわたって消毒するのにオゾン発生器を購入して部屋を「燻蒸」することも試みまし



た。オゾンは毒素が強いので、決められた時間発生器を作動させて部屋を出ます。職員の帰宅前にタイマーをセットして、翌朝片付けるという作業になります。作業としては簡単で時間も取らなかったのですが、問題が発生しました。まず、部屋の水槽で飼っていたメダカが全滅しました。次に、CDラジカセ、電子ピアノが壊れてきました。天井に設置してある扇風機のサビが異常に発生してネジが外せなくなりました。これはオゾンの影響だろう、ということでオゾン燻蒸は、早々と中止と相成りました。

ただ、弱いオゾンが発生させる機械は、現在もトイレで使用しています。



トイレで使っている
オースクリア

紫外線ライト

オゾン同様毒性の強いものなので扱いは慎重に行わなければなりません、トイレにオゾンライトを設置して、放課後の短時間照射することにしました。専用のサングラスをかけて作業するのですが、いちいち仰々しいため、除菌マットなどのグッズを取り入れることで使用しなくなりました。

光触媒 (パルクコート)

光触媒は、まだ研究初期の頃、営業に来られた会社の方が、光触媒を施工したタイルの上にマジックで線を描き、それを太陽光に当ててみごとに消して見せたことから、その効果に驚き、除菌というより防汚効果ということで施工してもらったのが始まりです。

その後、除菌効果も謳われてきたので、園バスの車内や保育室には施工してあったのですが、原液(パルクコート)を購入してコンプレッサーでおもちゃや、備品、子どもがさわるところ等に散布しました。フィルター素材にも散布

して、エアコンの吸い込み口に張り付け、簡易空気清浄機みたいな機能を持たせることもやっています。目には見えませんが、換気が不十分でエアコンを使用しているときの空間除菌にある程度効果が期待できます。

光触媒は、いろんな会社が出していますが製品に効果が疑わしいものも多く、基本的に「光触媒工業会」に加盟しているかどうかということも、判断材料になると思います。

光触媒の老舗「(株)ソウマ」

<https://www.palccoat.com/about/>



屋外の遊具にも光触媒を施工してあります

子どもは、ベタベタいるんなところを触ります。大きなサッシの硝子ドアもその一つ、手で触ったところに顔をくっつけ、時には口をつけてペロペロ舐めたりします。なので、塩素や洗剤系の薬品を使うことはできないので、当初は次亜塩素酸水を使っていました。ただ相当量かけないと効果が無いということで、作業量も多くなり負担となっていました。

ウイルシャット

そのうち、フマキラー社がウイルシャットという製品を販売し始めたので、そちらに切り替えていきました。殺菌効果2ヶ月以上と謳っていますが、2ヶ月も放置するのはさすがに気がひけるので2日おきぐらいで除菌作業は行っています。また手指消毒用もあるので、現在はアルコールからこちらに切り替えています。

<https://fumakilla.jp/household/467/>



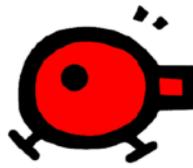
KINTOL

最終的に、効果と便利さで落ち着いたのがHONGO社が販売しているKINTOLというPHMBという無臭、無脱色、色低刺激（刺激はほとんど無い）の成分でアルコールや次亜塩素酸系の除菌剤より安全で効果も長持ちするというスプレーを、室内の拭き取り除菌に使用しています。

https://hongo3.co.jp/products/domestic/kintol_series.html#modal-results-01



皆さんもいろいろ試されているとは思いますが、私たちも子どもが相手ですから、除菌効果や身体への安全性の治験がしっかり出されている製品を選びつつ試行錯誤を繰り返しているところです。



原町幼稚園 園長 鶴谷圭一 (60)
HP : <http://www.haramachi-ki.ed.jp/>
MAIL : office@haramachi-ki.jp
Twitter : @haramachikinder
Instagram : haramachi.k

▶ご感想・ご意見ご質問等ありましたら
気軽に連絡ください。✉ office@haramachi-ki.jp

「幼稚園の現場から」ラインナップ

- 第1号 エピソード (2010.06)
- 第2号 園児募集の時期 (2010.10)
- 第3号 幼保一体化第 (2010.12)
- 第4号 障害児の入園について (2011.03)
- 第5号 幼稚園の求活 (2011.06)
- 第6号 幼稚園の夏休み (2011.09)
- 第7号 怪我の対応 (2011.12)
- 第8号 どうする保護者会? (2012.03)
- 第9号 おやこんぼ (2012.06)
- 第10号 これは、いじめ? (2012.09)
- 第11号 イブニング保育 (2012.12)
- 第12号 ことばのカリキュラム (2013.03)
- 第13号 日除けの作り方 (2013.06)
- 第14号 避難訓練 (2013.09)
- 第15号 子ども子育て支援新制度を考える
- 第16号 教育実習について (2014.03)
- 第17号 自由参観 (2014.06)
- 第18号 保護者アナログゲーム大会 (2014.09)
- 第19号 こんな誕生会はいかが? (2014.12)
- 第20号 ITと幼児教育 (2015.03)
- 第21号 楽しく運動能力アップ (2015.06)

- 第22号 〔休載〕
- 第23号 大量に焼き芋を焼く (2015.12) 2019
- 第24号 お話あそび会その1 (発表会の意味)
- 第25号 お話あそび会その2 (取り組み実践)
- 第26号 お話あそび会その3 (保護者へ伝える)
- 第27号 おもちゃのかえっこ (2016.12)
- 第28号 月刊園便り「はらっば」 (2017.03)
- 第29号 石ころギャラリー (2017.06)
- 第30号 幼稚園の音楽教育 (その1・発表会) 2017.09
- 第31号 幼稚園の音楽教育 (その2・こどものうた) 2017.12
- 第32号 幼稚園の音楽教育 (その3・コード奏法) 2018.03
- 第33号 〔休載〕 (2018.06)
- 第34号 働き方改革・一つの指針 (2018.09)
- 第35号 働き方改革って難しい (2018.12)
- 第36号 満3歳児保育について (2019.03)
- 第37号 満3歳児保育・その2 (2019.06)
- 第38号 プールができなくなる!? (2019.09)
- 第39号 跳び箱 (2019.12)
- 第40号 幼稚園にある便利な道具〈紙を切る〉 (2020.03)
- 第41号 コロナ休園 (2020.06)
- 第42号 コロナ休園から再開へ (2020.09)
- 第43号 ティーチャーチェンジ (2020.12)
- 第44号 除菌あれこれやってみた (2021.03)